

# Strawberry Energy

## 1. Strawberry Energy の核心的なコンセプト

Strawberry Energy の活動の核心は、\*\*「公共の場で人々に無料のクリーンな太陽エネルギーを提供する」\*\*というシンプルで実用的な提案です。

**シンプルで目に見える解決策:** 太陽光発電について語るだけでなく、Strawberry Energy はそれを市民の元へ直接届けます。彼らは「スマート都市家具」を製造しており、特に有名なのが\*\*世界初の公共ソーラー充電器「Strawberry Tree (ストロベリー・ツリー)」と「Smart Bench (スマートベンチ)」\*\*です。

**現代のニーズに応える:** これらの機器は公園、街の広場、キャンパスなどに設置され、通りかかる人々に無料のモバイル機器充電と Wi-Fi を提供します。これにより、外出先でバッテリーが切れるという共通の問題を解決します。

**クリーンエネルギーの可視化:** 目標は、再生可能エネルギーを身近でアクセスしやすいものにすることです。地元の公園でソーラー充電器を使うことで、人々はクリーン技術の利点を直接体験し、実践的な方法で環境意識を高めることができます。

---

## 2. 都市を変える仕組み

Strawberry Energy は単なるハードウェア企業ではなく、社会的な影響力とスケーラブルなビジネスモデルを組み合わせた「エコシステム（仕組み）」を構築しています。

### 運動の広がり（社会的インパクト）：

ベンチやツリーは、人々が太陽光発電を理解し、その価値を認識するための教育ツールとして機能します。

これらは現代的な待ち合わせ場所として設計されており、公共の場でのコミュニティとコミュニケーションを育みます。

同社の使命は、（バッテリー駆動のテクノロジーへの依存という）社会的問題を持続可能性を促進しながら解決することです。

### 解決策の提供（ビジネス活動）：

**スマートシティ技術（「製品」）：**同社は、バッテリー（太陽光なしでも数日間稼働可能）、充電ポート、Wi-Fi を搭載した太陽光発電家具のポートフォリオを開発・販売しています。

**パートナーシップ（「エコシステム」）：**Strawberry Energy は、都市、不動産開発業者、大学、および（通信会社や広告代理店などの）企業と提携しています。

**ビジネスモデル：**収益は、製品の直接販売と、スポンサー付きの\*\*「スマートベンチ・ネットワーク」\*\*の構築を通じて生み出されます。ロンドンや

ベオグラードのネットワークのように、これによりスポンサーパートナーはベンチをブランディングや企業の社会的責任（CSR）キャンペーンに活用でき、自社ブランドを革新性や持続可能性と結びつけることができます。



#### 4. Strawberry Energy の SDGs への貢献

SDGs 番号	日本語名	貢献の要点
SDGs 7	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	太陽光による無料充電と Wi-Fi を提供。
SDGs 9	産業と技術革新の基盤をつくろう	スマートシティ技術（スマートベンチなど）の開発・導入。
SDGs 11	住み続けられるまちづくりを	持続可能でコネクテッドな公共空間の創造。
SDGs 13	気候変動に具体的な対策を	再生可能エネルギーの利用促進による気候変動対策。